2021 年 12 月 1 日更新（赤字箇所）
法政大学
国際文化情報学会

国際文化情報学会実施要項

新型コロナウイルス感染症対策および感染対策の観点から、全てオンライン（リアルタイムおよびオンデマンド）形式で行う。

１．開催日時・場所

2021 年 12 月 4 日（土）～12 月 18 日（土）

総会	12 月 4 日（土）12 時 40 分～13 時 20 分	Zoom オンラインミーティングにより実施
研究発表会	12 月 4 日（土）14 時 00 分～12 月 18 日（土）16 時	オンライン（オンデマンド方式・詳細は以下）

＊上記「Zoom オンラインミーティング」ID/PW は、「国際文化情報学会」web ページ上に設置される「特設ページ」（要 PW）上に通知される（以下の「７」参照のこと）。

２．開催の目的

国際文化情報学会（以下「学会」と称する）は、国際文化学部および国際文化研究科の理念に則り、「情報文化コース」「表象文化コース」「言語文化コース」「国際社会コース」の各コースの講義やゼミ、SA を通じて得た知見や経験を生かした研究、創作の発表の場である。「学会」を卒業研究、卒業制作、修士論文の中間発表の場とし、日頃の研究・創作活動の成果を内外に問う機会にすることで、相互に切磋琢磨し刺激を受けることができるだろう。国際文化情報学会会員には、「学会」を知的交流の場として活用し、今後の研究・創作活動につなげてもらいたい。

３．研究発表部門

「論文発表」「ポスター発表」「映像作品」「インスタレーション、パフォーマンス」４部門の全てについて、発表のデータ（原稿）を全て事前に提出する。

（A）論文発表

１）学部生

「研究発表」として、ワードファイルの原稿を提出する（閲覧サイト上では PDF ファイルに変換）。提出原稿の分量は日本語で全 6,000 字以内（脚注や参考文献等の文字数を除く）とする。

２）大学院生

上の１）の要領の「研究発表」原稿を提出した上で、Zoom オンラインミーティ

ング上での研究発表会（プレゼンテーションと質疑応答）を実施する。オンラインミーティングは2021年12月4日（土）14:00～に実施予定だが、予備日として**翌週12月11日（土）**を予定しているので、参加者は必ず両日とも空けておくこと。オンラインミーティングのID,PW等の情報は、開催日が近くなったら大学院研究科を経由しメールで通知する。

(B) ポスター発表

「研究発表」として、10分以内の長さのプレゼンテーション動画データ(mp4形式を推奨)と、そこで使用したプレゼンテーション資料文書のPDF（A4版・2頁以内ないしPPTファイルでスライド10枚以内）の計二点を提出する（模造紙を使用する場合は四六判大の模造紙6枚以内に収めること。提出資料としては上記の通りPDFとして提出)。提出動画ファイルの長さは10分以内、研究発表の長さは5分以上10分未満に編集すること。

(C) 映像作品

「研究発表」として、オンデマンドに対応する30分以内の長さの動画データ（mp4形式を推奨）を提出する。補足的に文書や図像資料を添付する場合は一点のみA4版・2頁以内の分量で、全てPDFにしてあわせて提出のこと。

(D) インスタレーション、パフォーマンス

「研究発表」として、30分間以内の動画データ(mp4形式を推奨）およびA4・4頁以内の文書・図像等による解説資料PDF（ポートフォリオ）をそれぞれ一点ずつ、計二点を提出のこと。

４．発表資格

国際文化情報学会会員とする。

５．応募締切・方法

（１）締切

参加希望者は、「参加」エントリーの後、「研究発表」の原稿・データを提出する。

・書式A・Bによる参加応募締切：**11月15日（月）15時まで**（締切厳守）

・「研究発表」データの提出締切：**11月29日（月）17時まで**（締切厳守）

（２）応募方法

「応募」の届出は、以下の「書式A」「書式B」の両方を記入し、所定の期日までに、所定の提出先（11月以降に「特設サイト」上に通知）に提出する。「研究発表データの提出」は、上に記した所定の期日までに、所定の提出先（11月以降「2021年度国際文化情報学会特設ページ」上に通知予定）に提出する。

６．応募用紙について

（１）（書式A）基本情報

各項目をもれなく記入すること。

（２）（書式B）発表概要

書式に従い、応募部門・発表者氏名・ふりがな・メールアドレス・テーマ・所属ゼミないし指導教員名を明記し、日本語1,200字以内（参考文献等の文字数を含む）の発表概要を提出すること。

７．オンライン発表・閲覧場所・閲覧期間

（１）発表・閲覧場所（**予定**）

11月下旬、「国際文化情報学会Webページ」（https://ibunka.info）**上に「2021年度国際文化情報学会特設ページ」（以下「特設ページ」）を開設する（「特設ページ」は、学部 HP「国際文化情報学会」**https://www.hosei.ac.jp/kokusai/kenkyu/ibunka/**上からリンクで辿ることができるようにする）。**

「特設ページ」は、閲覧にパスワードが要求されアクセス制御がかかる仕様にする予定である。パスワードは、在学生（学部生、大学院生）および本学部所属教員には法政Gメールを通じて周知、卒業生や本学・本学部兼任講師等に対しては、希望に応じて、会員の本学部専任教員を通じて周知される。会員、とりわけ各専任教員におかれては、パスワードはくれぐれも厳重に扱ってもらいたい。

（２）総会

総会はZoomオンラインミーティングにて実施する。ID、PWは「特設ページ」上に掲載するが、不測の事態に備え、予備ID/PWも準備される。Zoomの不具合に備え、Google MeetのID/PWも別途事前に準備される。

（３）閲覧期間

「国際文化情報学会」総会終了後の2021年12月4日（土）13時30分以降に開始、２週間後の12月18日（土）に閲覧終了とする。

８．講評

参加者の発表に対し、国際文化学部教員（会員）からの「講評」が行われる。

学会大会の数日前までをめどに、企画・広報委員会で割り当て分担案と講評シートを作成し、教員に周知・公開する。各担当者は該当オンデマンド発表を閲覧ないし大学院生の「研究発表」を読み研究発表会に参加した上で所定のシートに記入し、企画・広報委員会宛提出する。講評シートは事前に所定のPWをかけた仕様とする。

講評作成期間は「閲覧期間」の間、講評は大会終了後から冬期休暇中の間くらいまで

に、各参加者にメールの添付ファイルを通じて送付される。
講評の扱いについて、各参加者に送付される「講評」の補足説明を別途参照のこと。

９．準備作業について

2021 年度秋学期開始以降の授業運営体制に準じ、コロナウイルス感染症対策の観点から、適切な方法で実施することとする。詳細や許可・禁止事項は全て随時学部 HP 上（「特設ページ」ではない）で発表するので、学部 HP をまめにチェックすること。感染症流行の状況次第では、本学の「レベル１」「レベル２」の場合対面授業で行うゼミや、「ポスター発表」「映像作品」「インスタレーション、パフォーマンス」の準備で学内施設を利用する、あるいはグループで学外活動をする場合、指導教員立ち合いのもと、以下のルールに則り、届出制で活動を認める可能性がある。

【指導教員向け注意】**10 月下旬以降公開の「補足事項」を参照のこと**

（１） 学内施設（教室など）利用を希望する演習担当教員、指導教員は、利用日の１週間前までに学部事務に申し出る（「教室貸し出し」申請専用 Google フォームを設置する）。

（２） 学部事務は施設の手配を行い、貸出施設を担当教員に伝え、その情報を執行部と共有する。

（３） 利用当日は、担当教員が原則として常駐するなど、活動を監督する。

（４） 利用施設内での食事は水分補給等に留め、原則として禁止する。

（５） **学外で作業などを行う場合は、実施日時点での法政大学による「フィールドワーク等の学外での授業およびゼミ合宿の実施について」の方針を確認し、それに則ること。**いずれにせよ活動日の１～２週間前をめどに事前申請が必要となるので時間に十分余裕をもって申請されたい。

１０．制作補助

(B)部門の発表については 1 万円、(C)、(D)部門の発表については、3 万円までの制作費を実費で支給する。制作にかかった費用のリストに領収証を添えて、12 月 13 日(月) 17 時までに国際文化学部・学部事務室に提出ないし郵送のこと（必着)。

リスト上の費目はすべて企画・広報委員が点検・検討し、その上で妥当と思われる金額を支給する。領収書は研究発表ごと必ずまとめて一度に提出し、後日の追加提出は極力避けるよう注意すること。締切厳守も当然の心得である。また領収書のない費目に対してはリスト上に記載されていても支払い対象から除外される。

詳細と申請のための書式は、11 月末以降、学部 HP「国際文化情報学会」上（「特設ページ」ではない）に公表・掲載する。

１１．その他（問い合わせ先）

2021 年度の「国際文化情報学会」大会の運営本部（国際文化学部 企画・広報委員会）の ML は、kikakukoho2021@ml.hosei.ac.jp である。大会に関する各種問い合わせは、全てこちらの ML にて受け付ける。

参加者宛ての連絡や、教員会員宛ての依頼は全て、直接法政 G メール宛て送付される。

以上